



生産振興の取り組み
11月21日(木)掲載

スマート農業
12月6日(金)掲載

技術開発
12月19日(木)掲載

元気な地域社会づくり
1月9日(木)掲載予定

物流改善

需要に応じ販売力強化
2月6日(木)掲載予定

全力結集で挑戦し、
未来を創る

6回シリーズで紹介

拠点の広域化と輸送転換で物流改善

JA全農は急速に変化する事業環境に対応するため、5年後、10年後を見据えて取り組みます。

広域物流拠点の整備

生産者・JAへのサービス向上とコスト低減に向けて

大分青果センター

- JA・エリアを越える青果物の広域物流拠点
- 青果物を12時間以上冷やす予冷庫と、外気に触れさせずに出荷するドックシェルターによるコールドチェーンを実現



愛媛さといも広域選果場

- 愛媛県東予地区の4JAが参加する広域集出荷施設
- 選果基準を統一することで、品質のばらつきを改善
- 集約による安定出荷の実現



東北広域部品センター

- 東北4県を供給エリアとする農業機械部品の広域物流拠点
- 夜間配送による翌朝納品
- 部品業務の効率化を目的としたシステムの導入



中四国広域物流センター

- 中四国7県を供給エリアとする農薬の広域物流拠点
- メーカーへの一括発注、メーカー工場からの一括配送や在庫の一元管理
- 配送先別の集品・農家別の箱詰め



生乳輸送でフェリーを活用

トラック乗務員の不足や労働規制の強化に対応

全農物流株式会社

- モーダルシフト(フェリー・鉄道への移行)により、運転時間の削減と環境負荷を低減
- 2018年8月、国土交通省のモーダルシフト効率化事業に認定

